



平成 29 年 6 月 22 日

小塚准教授の著書が「日本公認会計士協会学術賞」を受賞！

岡山大学大学院社会文化科学研究科の小塚真啓准教授の著書「税法上の配当概念の展開と課題」（成文堂、2016 年）について、日本公認会計士協会学術賞の受賞が決定しました。同書は研究者のみならず、実務家にも有益であると高く評価されました。授賞式は 7 月 19 日の日本公認会計士協会定期総会で行われる予定です。

<概要>

平成 29 年 5 月、岡山大学大学院社会文化科学研究科の小塚准教授（税法）の著書「税法上の配当概念の展開と課題」（成文堂、2016 年）について、日本公認会計士協会の第 45 回協会学術賞を受賞することが決定しました。

同書は日本の税法において特別な取り扱いを受けている「配当」という概念について考察し、現在の日本の配当課税について、所得税・法人税の全体像と関連した課題を挙げ、処方箋の提示を試みたものです。協会からは「監査実務や税務実務に携わる公認会計士をはじめ、政策立案者、研究者、さらには企業実務家に対して、大変貴重な知見と示唆を与えてくれる好著」と高く評価されました。学術賞の授与は、平成 29 年 7 月 19 日の同協会定期総会の席上で行われる予定です。

- ・ 日本公認会計士協会 第 45 回協会学術賞発表について

<http://www.hp.jicpa.or.jp/ippan/about/news/20170515dva.html>

- ・ 講評

http://www.hp.jicpa.or.jp/ippan/about/news/docs/gakujutsu_1_1_20170515.pdf

<お問い合わせ>

岡山大学大学院社会文化科学研究科（法）

准教授 小塚真啓

（電話） 086-251-7480